

R-18

成人向け

ゴルゴン★ふるっさむ

おれんじ★ふるっさむ





ごるごん★ぶろっさむ



くちゅ

腹が減ったと  
言ったろう？

くちゅ

はっ

それに最近、貴様は  
私を勘違いしている  
ようなのでな

ゴルゴーンさん  
何を…

いつ私に喰われるか  
わからぬ存在だと、  
解らせてやろうとな…





これが好きなのだろうか？  
貴様の視線に気付いて  
いないとでも思ったか？

ふふ...口では  
嫌がっていても...

こっちは正直な  
ようだな♡





今日は特別だ…  
貴様の好きな  
これで…

たつぷりと  
可愛がってやろう♡

ほら…  
どうだ…♡

うわああ…♡



んっ♡

んっ♡





どうした？腰が動いているぞ♡

怪物に犯されて喜ぶ変態め…♡

ぐちゃっ

ちゅ



んっ♡

ロロ

はあっ…

ロロ





ああっ!  
もう...で、出...!



んは♡

ハッ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

ん♡



ん♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡





ずらら♡



ぢゅっ

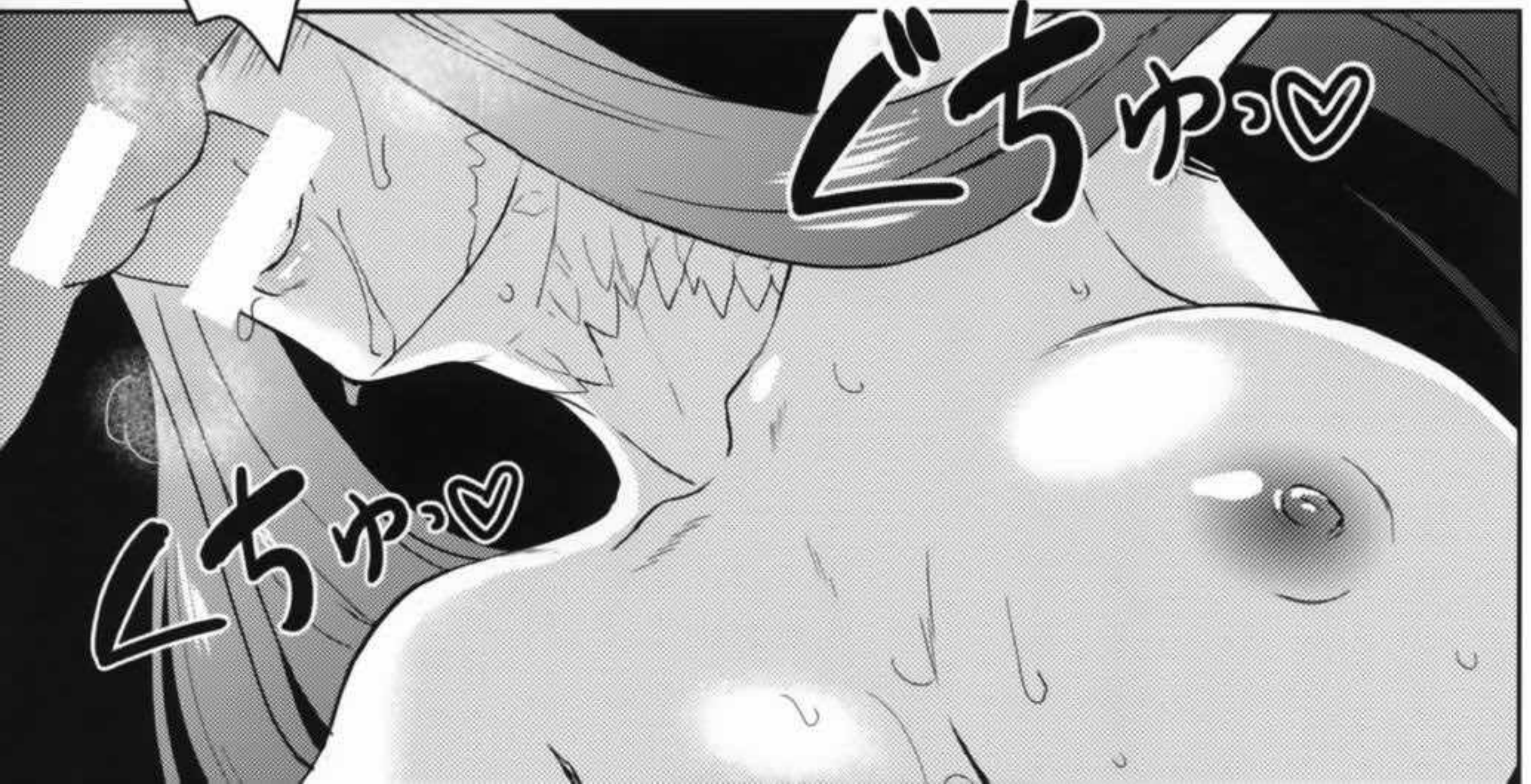
ジュルッ



ぽっ♡

ぽっ♡

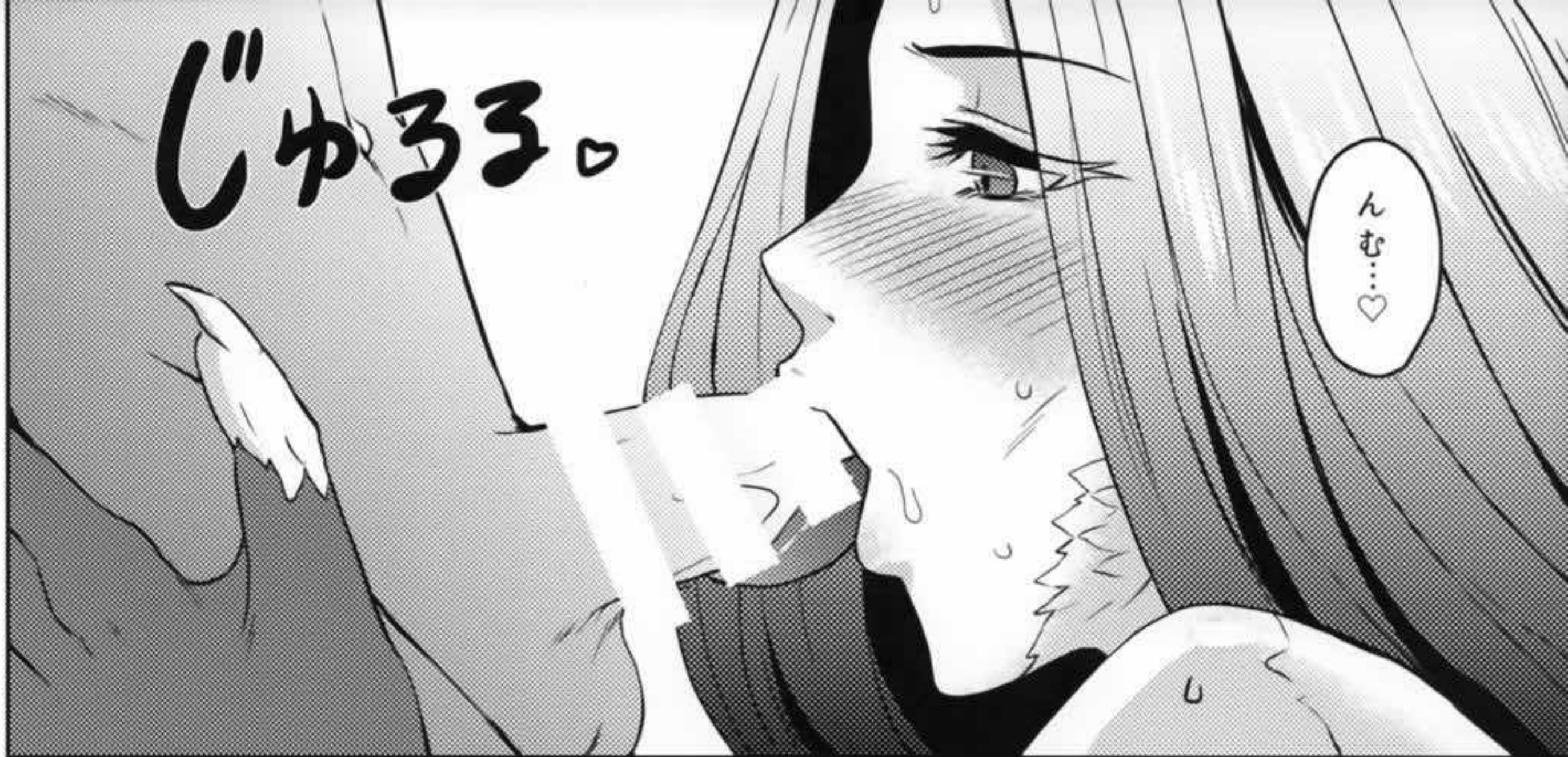
まっ…まっって  
いったばかりで…



ぢゅっ♡

ぢゅっ♡





んむ...♡

じゃっっ♡



はあ...♡

ゴクッ



ぷはっ...

ほら...まだこんなに残っていたぞ...♡

ハッ♡

はっ♡

トッ

〇〇



今度は私も…

楽しませて  
もらおうとしようか♡

トロ…♡

はあ

はあ

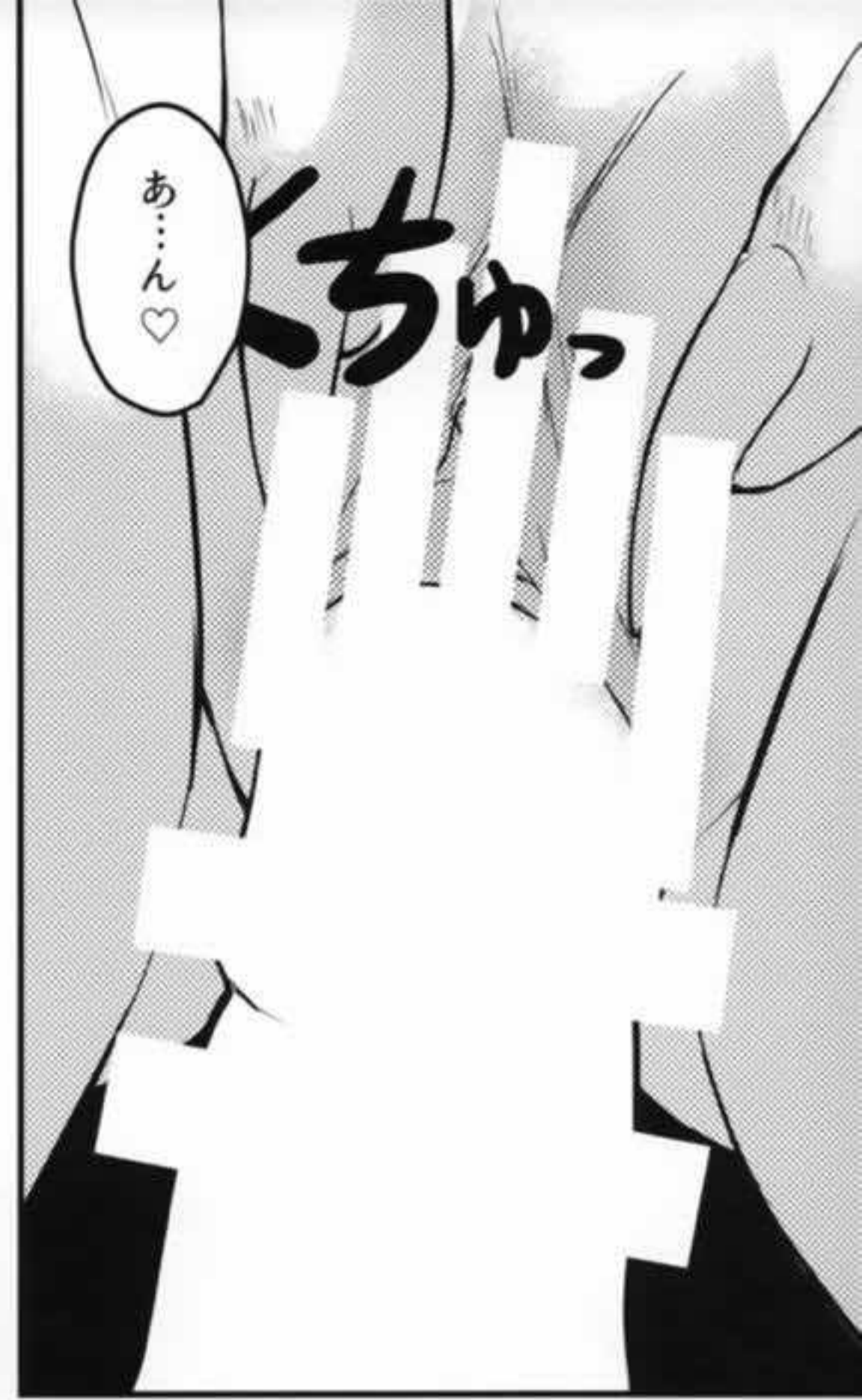
はあ

♡♡♡♡♡



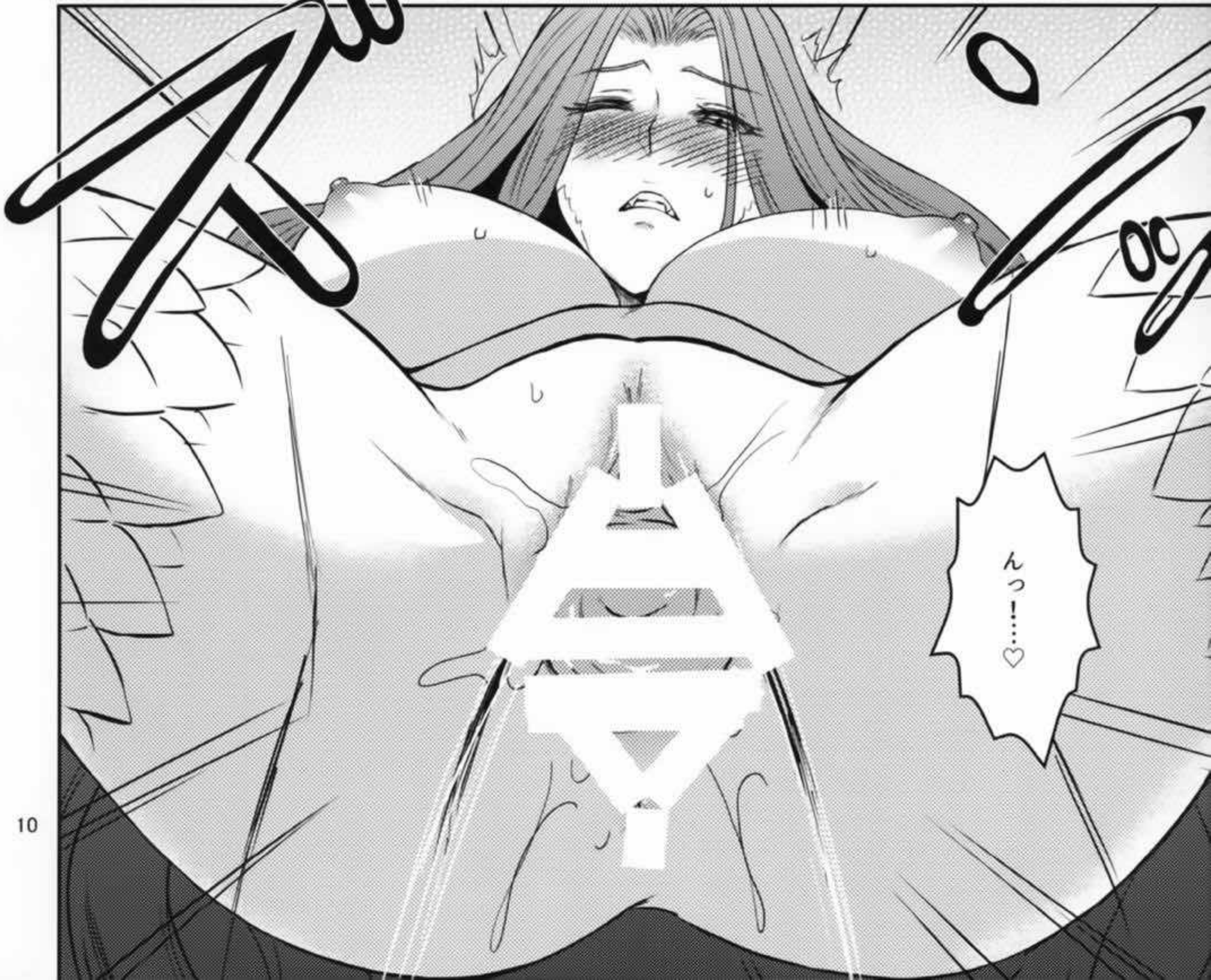


喰らってやろう♡



あ…ん♡

ぐちゃっ



んっ…♡





んっ…なかなか…  
いいではないか…♡

んあっ…♡

あっ…♡

はあっ…♡











はっ♡

はっ♡

はっ♡



ああ…♡

ああ…♡



やばい…  
もうイキそ…!!

ズン

ズン





ああっ♡

んあ…♡



おっ…おっ…♡

ちゅっ♡

おっ…おっ…♡

ちゅっ





んお...お...♡

あぁ♡

ドク



すこ...♡  
またこんなに...♡

はあ...♡

ドク



ふふ…流石は  
私の契約者だ…

なかなか…質のいい  
魔力ではないか♡

この身体は  
燃費が悪い…

まだまだ  
愉しませて  
もらおうぞ…  
マスタ…♡



5-3

それは二回目の  
クラス替えの直後  
校庭の桜の花が  
散り始めた頃

いつも窓の外を  
物憂げに眺めている  
そんなあの娘が気になっていた

いつからだだろう？憶えがない  
君から目が  
離せなくなっていたんだ

朝から晩まで君の事で  
頭がいつぱいで  
ひとり顔を赤くしている

ああ 馬鹿みたいだ——  
もしかしたら僕は  
病気なのかもしれない

あ、あのさ——





なあに？

これが僕と間桐桜のはじまりだった

言葉を交わすうちになんとなく仲良くなった

後になって振り返ればあれが僕の初恋だったんだと思う

このまま全てが順調に進んでいく――

時折哀しげな微笑みで僕をじっと見るのが気になった

すっかり舞い上がっていた僕はそれを問いただす事もしなかった

何の根拠もなくそう信じて疑わなかったんだ



ヘルプミー

ヘルプミー

ヘルプミー





五月のある日曜日  
僕は桜の家にお邪魔していた

けれど楽しい時間は  
すぐに過ぎるもので  
いつしか陽は落ち、  
辺りは暗くなり始めていた

……うん  
また明日、学校でね

ちえつ  
そろそろ帰らないとなー

もうこんな時間かあ  
母ちゃんに  
怒られるかもなあ

素晴らしい事よ  
帰る場所があつて  
待っていてくれる人が  
いるというのは

全然  
そんな事ねーし！

……

——そう

貴方は幸せなのね

!?

その時はまだわからなかった  
彼女の何気ないこの一言が  
どれだけの重さを秘めたモノなのか——



ズル...

えへへ...  
お帰りなさい お義父さま

見てください こんなに濡れて...  
桜は悪い子ですっ

蛍光灯の下 晒された  
無毛の性器...

「ああ 女ってチンコ付いて  
ないんだな」と緊張感のない  
感想を抱いた——



「ねえ——」

玄関口。別れ際に、声を掛けられた。  
そして少しの逡巡のあと桜は、

「…ううん。なんでもない。じゃあね、バイバイ」

ひらひらと、手を振った。  
何を言いかけたのか気になったが、それはまた明日学校で確かめればいいのか。  
僕は黙ったまま桜に頷いてみせた。

間桐邸は古城のように聳え立っている。  
少し探検してみるのも悪くない。踵を巡らしたその時——

「あっ。お義父さま、帰ってきた」

近くの窓から聞き慣れた声。  
足音を殺して近付き、覗き込んだ。桜の驚く顔が見たかったんだ。  
それだけだったのに。

「ただいま、桜。待たせてすまないな」  
窓の奥に見えたモノは。  
桜と彼女の父親と思しき男性が向き合っていて、桜は慣れた動きでワンピースの  
裾の中に手を入れ、下着を脱いで——って、ちょっと待て！  
驚かされたのは僕の方だった。なんとか声を押し殺し、間桐父娘の様子を食い入るように  
見つめた。  
まずいモノを見てしまった。頭では理解していても、ふたりから視線を外せない。

「さあ、始めましょうか。わたしのお義父さま——」

おもむろに桜はワンピースの裾を持ち上げた——









そんな娘にしたのは  
どちら様でしょう？  
フッフ...



悲しみや怒りが  
ない交ぜになった感情...  
ソレに打ちひしがれる  
一方で僕の手は自然と  
自分のモノを  
扱っていた—







んっ  
硬くておつきい…  
動きますね…

はあ

は



ああ…  
挿入…

はあ

お義父さまがわたしの中に…

ズブッ



あ

あんっ!

あ

はあ

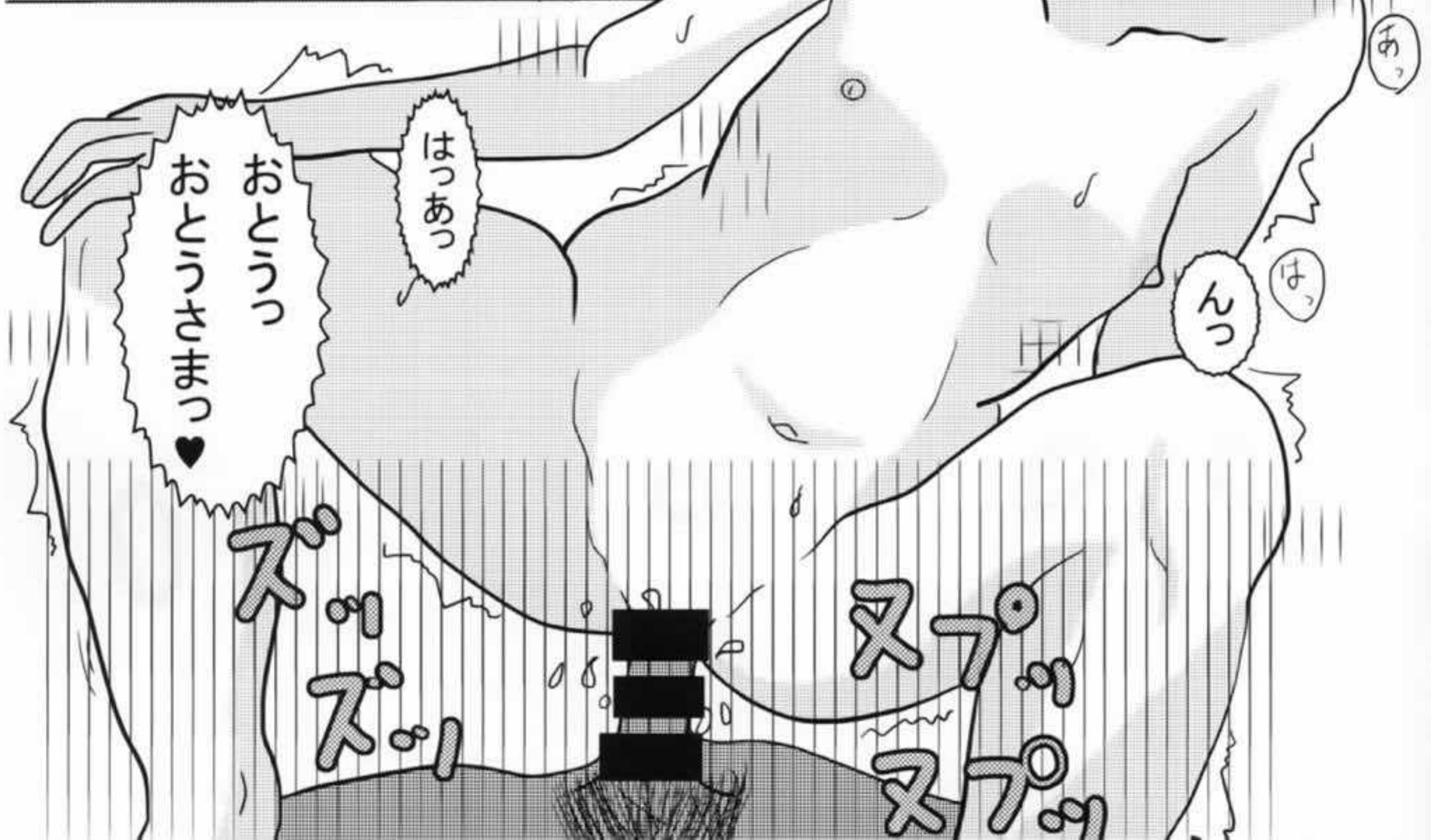
わう

奥っ  
こすれてっ

ズブ  
ニギ  
ン

ズブ  
ツ  
チ  
ユ





あぁ  
今日も桜は最高だよ

んっ

おとじおまじっ  
桜のアンコっ

気持ちいいっ??  
はあ

あはっ  
あはっ

あっ

あはっ

おとじお  
まじっ  
あはっ

はっ  
あっ

んっ

はっ









行為が終わり、  
息を荒くして  
桜は床に倒れ込む

僕はモノを扱きながら  
考える——



いつもの清楚な彼女  
クラスの中でも地味で眼立たず  
寡黙な彼女

僕の前で傍げに微笑う  
桜は何処へ行ってしまったのか

それとも——  
父親にだけ見せる  
このメスの貌が  
本当の桜なのか

こんな事を  
考えてしまう自分が  
嫌になる

それじゃあ桜

キレイに舐め取っておくれ

はい お義父さま

えっ……？





んんっ…

んっ

はっ

れろっ

お義父さま  
今日学校の友達と  
お屋敷で遊んだんです

はあ

んちゅっ

お友達を  
招待するなんて  
初めてだったから  
楽しかったです

んちゅ…む…

フロ

フロ

コス

コス

フロ

…桜  
話すか舐めるか  
どちらかにしなさい



んっ

んっ

んんっ

んんっ

はっ

あっ

ああっ 桜っ  
顔に射精すよっ

ジュポッ

ジュルッ







胡乱に虚空を漂う視線  
口元を舐め取る舌は  
さながら蛭のよう

ほあ

あ

ほあ

肩で息をする様子さえ  
年齢不相応に艶めかしく、淫らだ

間桐桜は僕が関わっては  
行けない人間だったのだと今更になって思う



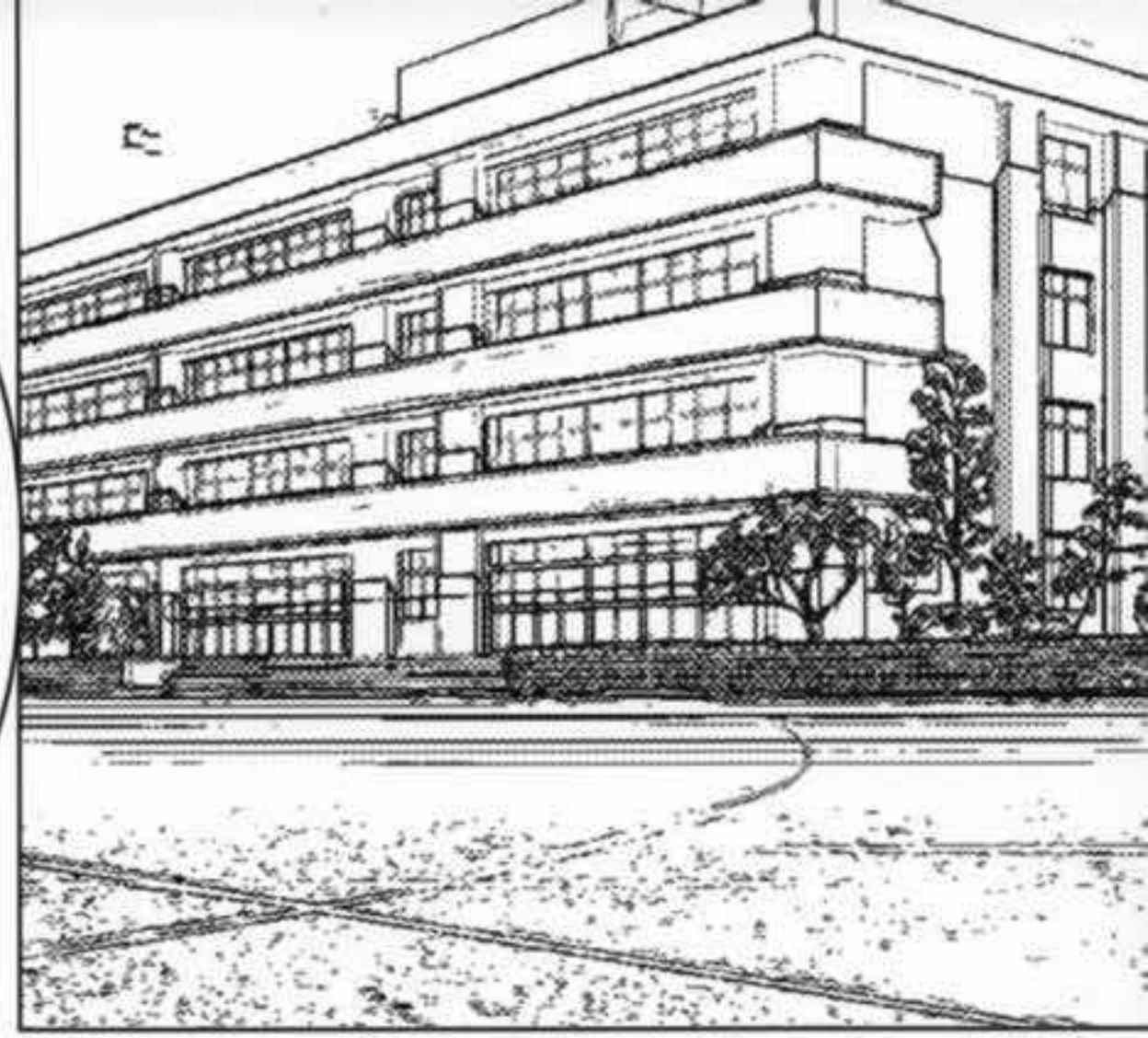
ふと、目が合って——  
桜がニヤリと  
嗤った瞬間、  
僕は射精した。

思い出したくもない  
人生初の手淫だった。

ズボンを汚したまま  
一目散に僕は  
走って逃げだした

その後の記憶は  
あやふやで  
思い出せない——





おい  
グラウンドで  
サッカーやろうぜ

あ、ああ…

あの出来事から、桜と  
言葉を交わす事はなくなった

時々目と目が合っても、彼女は  
気まずそうに微笑むだけだ

あの時、別れ際に桜は  
「助けて」と言いかけたのではないだろうか。  
今となっては何もわからないけれど——



いつも物憂げに空を眺める  
少女は、何を想うのだろうか

教室という籠の中、  
今日もあの娘はひとりぼっち。



## - あとがき -

皆様ごきげんようです、おれんじ★ぶろっさむのshinoです。

1日1個ヨーグルトを食べる(400グラム前後)のをここ1年くらい続けたところ、持病の症状が緩和しました。やった！まあ調子に乗って食べ過ぎると腹が出るのですが。

という訳でロリ桜リベンジです。昨年冬コミの際に掲げた「20ページ、漫画形式で！」という目標にはわずかに至りませんでした。及第点という事で…。

漫画描くのって大変なんやね、ホントに(泣)

内容としては当初、「小さな恋の物語」を主たるコンセプトに展開していく予定だったのですが、いつの間にか●SのNTRモノと成り果てました。なんてこったい。

前回から引き続きFGOやってます。課金額はわずか(?)5ケタですが、それなりに戦力は整いつつあります。

一番印象的だったのがジャックちゃんをお迎えした時。

演出なしで金カードが登場、いろんな汁がビュクビュク出ました。

毎日のようにマイルームで突つき回していますが、絆レベル5のセリフの破壊力たるや。思い出すと顔が勝手にニヤニヤ…解体されてきます。

来年の目標もとりあえず、「漫画形式を20ページ」に設定しようかと思えます。

今回けっこう手応えがあったので次の夏こそは…と密かに野心を燃やしております。

早く次に取り掛かりたい！

ではでは、次回イベントでお会いしましょう！

どうも皆様、おれんじ★ぶろっさむのかくかです。

今年の冬も本を出させていただきました。楽しんで頂けたのなら幸いです。

今年は少しメンタルHPを削られて若干鬱になりかけていた時期があり

今回はいつにも増してギリギリの作業でした…

師匠がダッシュする時期なので仕方ないのか…

さて今回はゴルゴーンさんを描かせてもらいました。

以前からずっと欲しかったのですが中々ピックアップも来ず、

来たと思って引いたら当たらないというテンプレのような爆死をしていたので

少し前にあった星4サーヴァント交換の時にやっと当カルデアにゴルゴーンさんを迎えることが出来ました。

嬉しさの反動で貰った瞬間に聖杯ぶっこみました。

フレンドの人が地味に使ってくれている事にささやかな喜びを感じる

今日この頃です。

次回イベントでもお会いできるよう精進してまいります。

では皆様、よいお年を。



**-発行-**

**おれんじ☆ぶろっさむ**

**-誌名-**

**ゴルゴン★ぶろっさむ**

**-メール-**

**orange19blossom@yahoo.co.jp**

**-ホームページ-**

**<http://orangeblossom69.blog.fc2.com/>**

**-発行日-**

**2017/12/29**

**-印刷所-**

**株式会社 栄光 様**

**-禁止事項-**

**無断転載・18歳以下の購入、閲覧  
インターネットへの無断アップロード**



おれんじ☆ふるっさむ